



平成23年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年9月14日

上場会社名 サイボウズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4776 URL <http://www.cybozu.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)西端 慶久
 問合せ先責任者 (役職名)取締役副社長 (氏名)山田 理 TEL (03)5805-9035
 四半期報告書提出予定日 平成22年9月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年1月期第2四半期の連結業績(平成22年2月1日~平成22年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
23年1月期第2四半期	2,817 △28.3	723 743.5	725 786.0	284 151.0
22年1月期第2四半期	3,927 —	85 —	81 —	113 —

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年1月期第2四半期	538 85	538 81
22年1月期第2四半期	215 61	215 19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年1月期第2四半期	6,387	5,055	76.6	9,277 36
22年1月期	5,697	4,248	71.7	7,754 42

(参考) 自己資本 23年1月期第2四半期 4,894百万円 22年1月期 4,087百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年1月期	— —	0 00	— —	103 00	103 00
23年1月期	— —	0 00	— —	— —	— —
23年1月期(予想)	— —	0 00	— —	464 00	464 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年1月期の連結業績予想(平成22年2月1日~平成23年1月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通期	5,350 △19.5	780 83.4	780 79.6	330 16.8	625 50

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は【添付資料】P. 4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 有

除外 1社（サイボウズ・メディアアンドテクノロジー株式会社）

（注） 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

（注） 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

（注） 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年1月期2Q	527,578株	22年1月期	527,098株
23年1月期2Q	—株	22年1月期	—株
23年1月期2Q	527,384株	22年1月期2Q	525,174株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）の3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第2四半期連結累計期間】	7
【第2四半期連結会計期間】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の一部持ち直しや下げ止まりの傾向が見られるものの、依然として雇用情勢は厳しく、個人消費も引き続き低調に推移したことに加え、国内のデフレ経済が進展する等、本格的な景気回復までには至らず、企業を取り巻く環境は引き続き厳しいものとなりました。

情報サービス産業においても、引き続き多くの企業が慎重な情報設備投資への姿勢を継続し、依然として厳しい経営環境にあるものと認識しております。

このような状況のもと、当社グループは、前連結会計年度に引き続き、ソフトウェア部門への経営資源の集中、国内グループウェア市場の磐石化、海外進出の基盤作りに注力しております。

グループウェア部門へ経営資源を集中させるため、引き続きグループ再編を進めております。グループ再編の一環として、ソリューション事業を営むサイボウズ・メディアアンドテクノロジー株式会社は、当第2四半期連結累計期間に、全事業を占めるシンクライアント事業を譲渡し、同社は特別清算手続き開始の申立てを行いました。この譲渡に伴い、特別損失107百万円を計上しております。

国内グループウェア市場の磐石化といたしましては、平成21年9月に発表したマイクロソフト株式会社(代表執行役社長：樋口 泰行、本社：東京都渋谷区、以下、マイクロソフト)との協業の成果として、マイクロソフトの技術支援の下、サイボウズが開発した、Microsoft® SharePoint® Server をベースとした新しいグループウェア製品である「Cybozu SP Apps」シリーズを平成22年6月より販売開始いたしました。今後も共同で製品プロモーションや販売活動を実施してまいります。

海外進出の基盤作りといたしましては、従来からの才望子情報技術(上海)有限公司による中国市場での販売に加え、平成22年5月には欧米現地パートナーと新たに販売契約を締結する等、グローバル市場への販売網を着実に拡大しております。

このような状況下において、当第2四半期連結累計期間の連結業績については、連結子会社が前年同期に比べ減少したこと等から連結売上高は2,817百万円(前年同期比28.3%減)となりました。前年同期に赤字であった連結子会社が連結から外れたこと等から営業利益は723百万円(前年同期比743.5%増)、経常利益は725百万円(前年同期比786.0%増)、また、当第2四半期連結累計期間において事業譲渡損を計上したこと等から、四半期純利益は284百万円(前年同期比151.0%増)となりました。

<事業別概況>

(a) ソフトウェア事業

ソフトウェア事業には、当社、サイボウズ・ラボ株式会社、才望子情報技術(上海)有限公司、サイボウズ総合研究所株式会社のソフトウェア関連部門、ユミルリンク株式会社のソフトウェア関連部門、及び株式会社ジェイヤドが該当します。「かんたんシリーズ」や「ガルーンシリーズ」の継続売上が堅調に推移したことなどから当第2四半期連結累計期間のソフトウェア事業の売上高は2,505百万円(前年同期比2.6%増)、営業利益は722百万円(前年同期比42.8%増)となりました。

(b) ソリューション事業

ソリューション事業には、サイボウズ総合研究所株式会社のシステムインテグレーション関連部門、ユミルリンク株式会社のネットワーク関連部門、サイボウズ・メディアアンドテクノロジー株式会社が該当します。ソリューション事業を構成していた連結子会社が減少したこと等から、当第2四半期連結累計期間の売上高は325百万円(前年同期比44.1%減)、営業利益は0百万円(前年同期△162百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報**① 資産、負債、純資産の状況**

当第2四半期連結累計期間において、現金及び預金が増加したこと等により、資産の部は前連結会計年度に比べ690百万円増加し、6,387百万円となりました。

負債の部については、サイボウズ・メディアアンドテクノロジー株式会社が連結子会社でなくなったことによる短期借入金の減少等により、前連結会計年度に比べ116百万円減少し、1,332百万円となりました。

また、純資産の部については、5,055百万円となり、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は76.6%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末より817百万円増加し、3,866百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金収支は、1,006百万円の収入（前年同期比426百万円の収入増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の増加等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金収支は、94百万円の支出（前年同期比862百万円の支出減）となりました。これは主に、前年同期は子会社株式の売却による支出があったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金収支は、117百万円の支出（前年同期370百万円の収入）となりました。これは主に、前年同期にあった長期借入れによる収入がなかったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年1月期の連結業績予想につきましては、平成22年6月11日公表の「業績予想の修正、および配当予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

(除外) サイボウズ・メディアアンドテクノロジー株式会社

平成22年6月に、ソリューション事業の一部を構成するサイボウズ・メディアアンドテクノロジー株式会社が特別清算手続き開始の申立てをしたため、連結の範囲から除外しております。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

・一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して、一般債権の貸倒見積高を算定しております。

・繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①「工事契約に関する会計基準」等の適用

受注制作に係る収益の計上基準については、従来完成基準を適用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成19年12月27日 企業会計基準第15号）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成19年12月27日 企業会計基準適用指針第18号）を適用し、第1四半期連結会計期間に着手した受注契約から、第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる受注契約については工事進行基準を適用し、その他の受注契約及び重要性が低い受注契約については工事完成基準を適用しております。工事進行基準を適用する受託開発の当期末における進捗度の見積もりは、原価比例法によっております。この変更による損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,038,117	3,218,570
受取手形及び売掛金	747,552	768,524
たな卸資産	28,320	104,474
繰延税金資産	39,630	43,545
その他	110,162	160,148
貸倒引当金	△2,021	△2,212
流動資産合計	4,961,763	4,293,052
固定資産		
有形固定資産	209,742	190,563
無形固定資産		
のれん	135,517	266,681
ソフトウェア	62,804	70,601
その他	116,466	74,090
無形固定資産合計	314,788	411,373
投資その他の資産		
投資有価証券	345,309	424,558
繰延税金資産	229,537	91,569
その他	480,765	332,336
貸倒引当金	△153,922	△4,065
関係会社投資損失引当金	—	△41,461
投資その他の資産合計	901,689	802,937
固定資産合計	1,426,220	1,404,874
資産合計	6,387,983	5,697,927
負債の部		
流動負債		
買掛金	33,606	40,568
短期借入金	—	394,908
1年内返済予定の長期借入金	42,012	52,236
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払法人税等	286,138	38,891
役員賞与引当金	—	6,000
賞与引当金	5,353	—
その他	834,075	757,544
流動負債合計	1,221,186	1,310,148
固定負債		
社債	20,000	30,000
長期借入金	68,065	86,312
その他	23,531	23,047
固定負債合計	111,596	139,359
負債合計	1,332,783	1,449,507

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	613,810	606,802
資本剰余金	976,765	969,757
利益剰余金	3,312,155	2,512,408
株主資本合計	4,902,731	4,088,968
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△6,816	—
その他有価証券評価差額金	△1,383	△1,628
評価・換算差額等合計	△8,199	△1,628
新株予約権	1,500	1,500
少数株主持分	159,169	159,578
純資産合計	5,055,200	4,248,419
負債純資産合計	6,387,983	5,697,927

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年2月1日 至平成21年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年2月1日 至平成22年7月31日)
売上高	3,927,319	2,817,296
売上原価	1,268,110	385,545
売上総利益	2,659,209	2,431,751
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	812,441	591,735
業務委託費	188,333	83,737
貸倒引当金繰入額	141,901	882
のれん償却額	150,340	91,249
その他	1,280,457	940,942
販売費及び一般管理費合計	2,573,474	1,708,547
営業利益	85,734	723,203
営業外収益		
受取利息	1,453	1,147
受取配当金	131	133
持分法による投資利益	2,873	1,043
受取手数料	2,867	1,062
その他	5,574	6,025
営業外収益合計	12,901	9,411
営業外費用		
支払利息	12,416	5,471
社債発行費	3,913	—
その他	425	1,716
営業外費用合計	16,755	7,187
経常利益	81,880	725,427
特別利益		
投資有価証券売却益	299	—
関係会社株式売却益	147,028	—
事業譲渡益	70,343	—
貸倒引当金戻入額	2,233	166
特別利益合計	219,904	166
特別損失		
投資有価証券評価損	38,821	—
固定資産除売却損	2,671	2,267
事務所移転費用	10,905	138
事業譲渡損	—	107,342
特別損失合計	52,398	109,748
税金等調整前四半期純利益	249,386	615,844
法人税、住民税及び事業税	229,154	278,464
法人税等調整額	△46,805	53,609
法人税等合計	182,348	332,074
少数株主損失(△)	△46,192	△409
四半期純利益	113,230	284,180

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年7月31日)
売上高	1,669,595	1,258,072
売上原価	543,020	170,228
売上総利益	1,126,575	1,087,843
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	402,656	307,977
業務委託費	92,128	45,868
貸倒引当金繰入額	38,167	508
のれん償却額	72,469	43,983
その他	588,224	479,131
販売費及び一般管理費合計	1,193,646	877,469
営業利益又は営業損失(△)	△67,701	210,373
営業外収益		
受取利息	395	255
受取配当金	131	133
持分法による投資利益	—	△879
受取手数料	1,983	395
その他	3,613	4,442
営業外収益合計	6,124	4,347
営業外費用		
支払利息	5,633	2,653
社債発行費	3,913	—
持分法による投資損失	63	—
その他	42	1,122
営業外費用合計	9,653	3,775
経常利益又は経常損失(△)	△70,599	210,945
特別利益		
投資有価証券売却益	299	—
関係会社株式売却益	147,028	—
事業譲渡益	70,343	—
貸倒引当金戻入額	△1,042	116
特別利益合計	216,629	116
特別損失		
投資有価証券評価損	34,325	—
固定資産除売却損	2,671	1,490
事務所移転費用	10,905	—
事業譲渡損	—	107,342
特別損失合計	47,903	108,832
税金等調整前四半期純利益	98,126	102,228
法人税、住民税及び事業税	54,123	79,160
法人税等調整額	9,357	32,234
法人税等合計	63,481	111,394
少数株主損失(△)	△1,104	△913
四半期純利益又は四半期純損失(△)	35,749	△8,252

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年2月1日 至平成21年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年2月1日 至平成22年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	249,386	615,844
減価償却費	312,521	79,787
のれん償却額	150,340	91,249
固定資産除売却損益(△は益)	2,671	—
投資有価証券評価損益(△は益)	38,821	—
持分法による投資損益(△は益)	△2,873	△1,043
事業譲渡損益(△は益)	△70,343	107,342
投資有価証券売却損益(△は益)	△299	—
関係会社株式売却損益(△は益)	△147,028	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	106,545	△333
受取利息及び受取配当金	△1,585	△1,280
支払利息及び社債利息	12,416	5,471
賞与引当金の増減額(△は減少)	△16,826	5,353
投資損失引当金の増減額(△は減少)	—	△41,461
その他の引当金の増減額(△は減少)	△29,828	—
売上債権の増減額(△は増加)	179,050	35,549
たな卸資産の増減額(△は増加)	122,373	107
仕入債務の増減額(△は減少)	△10,837	9,617
未払金の増減額(△は減少)	△124,165	2,481
前受金の増減額(△は減少)	△48,090	98,440
その他	△38,851	5,517
小計	683,396	1,012,645
利息及び配当金の受取額	1,368	1,610
利息の支払額	△9,859	△2,188
法人税等の支払額	△95,592	△29,445
法人税等の還付額	—	23,410
営業活動によるキャッシュ・フロー	579,313	1,006,032
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△108,164	△49,025
有形固定資産の売却による収入	—	22
無形固定資産の取得による支出	△122,626	△78,368
投資有価証券の売却による収入	300	—
関係会社株式の取得による支出	△64,700	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△200,926	—
事業譲渡による収入	71,800	2,307
貸付けによる支出	△40,898	—
貸付金の回収による収入	8,895	32,370
敷金及び保証金の差入による支出	△58,555	—
敷金及び保証金の回収による収入	6,185	—
定期預金の預入による支出	△530,000	—
定期預金の払戻による収入	82,000	—
その他	△19	△1,725
投資活動によるキャッシュ・フロー	△956,708	△94,420

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年2月1日 至平成21年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年2月1日 至平成22年7月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△31,364	△34,688
長期借入れによる収入	397,600	—
長期借入金の返済による支出	△180,283	△28,471
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
配当金の支払額	△22,210	△54,291
株式の発行による収入	70,829	14,016
社債の発行による収入	146,086	—
その他	△570	△3,839
財務活動によるキャッシュ・フロー	370,087	△117,273
現金及び現金同等物に係る換算差額	92	△1,586
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,214	792,752
現金及び現金同等物の期首残高	2,434,001	3,048,770
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	25,015
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△20
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,426,786	3,866,517

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年2月1日 至 平成21年7月31日)

	ソフトウェア事業 (千円)	通信事業 (千円)	ソリューション事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,434,504	914,930	577,884	3,927,319	—	3,927,319
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	8,272	—	4,416	12,689	(12,689)	—
計	2,442,776	914,930	582,301	3,940,008	(12,689)	3,927,319
営業利益又は 営業損失(△)	505,972	△259,184	△162,513	84,274	1,459	85,734

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品・サービスの系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分の属する主要な製品・サービス

事業区分	主要製品・サービス
ソフトウェア事業	グループウェア、データベースソフト等
通信事業	通信サービス、ビリングソリューション
ソリューション事業	ネットワークソリューション、運用、監視、システムインテグレーション ソリューションコンサルティング、シンククライアントビジネス

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年2月1日 至 平成22年7月31日)

	ソフトウェア事業 (千円)	ソリューション事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,501,933	315,362	2,817,296	—	2,817,296
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3,642	10,196	13,838	(13,838)	—
計	2,505,575	325,559	2,831,134	(13,838)	2,817,296
営業利益	722,446	357	722,803	400	723,203

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品・サービスの系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分の属する主要な製品・サービス

事業区分	主要製品・サービス
ソフトウェア事業	グループウェア、データベースソフト等
ソリューション事業	ネットワークソリューション、運用、監視、システムインテグレーション ソリューションコンサルティング、シンククライアントビジネス

※ 前連結会計年度において、通信事業を唯一構成する株式会社インフォニクスが連結の範囲から除外となったことから、当連結会計年度より当社グループから「通信事業」はなくなりました。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間において、本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間において、海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
前連結会計年度末残高	606,802	969,757	2,512,408	4,088,968
当第2四半期連結会計期間末までの変動額				
剰余金の配当			△54,291	△54,291
四半期純利益			284,180	284,180
新株の発行 ※1	7,008	7,008		14,016
新規連結による剰余金増加高 ※2			14,807	14,807
連結除外による剰余金増加高 ※3			555,049	555,049
当第2四半期連結会計期間末までの変動額合計	7,008	7,008	799,746	813,762
当第2四半期連結会計期間末残高	613,810	976,765	3,312,155	4,902,731

※1 第1四半期連結会計期間に新株予約権(96個)について権利行使がありました。

※2 第1四半期連結会計期間より、非連結子会社でありました才望子信息技术(上海)有限公司につきまして、重要性が増したため連結の範囲に含めております。

※3 当第2四半期連結累計期間において、特定子会社(サイボウズ・メディアアンドテクノロジー株式会社)が特別清算手続き開始の申立てをしたため、連結の範囲から除外しております。